

師走の声を聞き、日々の慌ただしさが一段と増したように感じる今日この頃です。

12月は冬至や餅つき、大晦日など、昔から伝わる行事がたくさんあります。風邪やインフルエンザ等の感染症にかかりやすい時期でもあるので、しっかりと予防をして行事を楽しみましょう。



### 昔から伝わる行事を大切にしよう



## 冬至

冬至は、一年中で昼間が最も短く、夜が最も長い日です。この日を境に昼間が長くなっていくことから、太陽がよみがえる日とも考えられています。かぼちゃや小豆がゆを食べたり、ゆず湯に入ったりする風習があります。

### かぼちゃ・小豆がゆ

冬至にかぼちゃを食べると風邪をひかないなどと言われています。小豆がゆの小豆は、赤い色が邪気をはらうとされています。



### 「ん」のつく食品

れんこん、にんじん、うどんなど、「ん」のつく食べ物を食べると幸運につながるという言い伝えがあります。



### ゆず湯

ゆずを浮かべた風呂に入ると、風邪をひかないと言われています。ゆずには、血行をよくする効果があります。



## もちつき

正月に欠かせないもち（鏡もちなど）を年末につく行事です。蒸したもち米を、「きね」と「うす」でついてつくります。12月25日から28日までに行うところが多いようです。29日につくのは「苦（く）もち」、31日につくのは「一夜もち」として避けられています。



## 大みそか

みそか（晦日、三十日）は、月の最終日を指します。大晦日は、一年の最後の月の最終日であるため、「大晦日（おおみそか）」といわれています。大晦日の夜に食べる年越しそばには、細く長い形から長寿を願う説や、金細工師が金粉を集めるためにそば粉を使ったことから、金運を願う説などがあります。



### お知らせ

- 12月20日(水)・・・2学期の給食最終日です。当番はエプロンセットを持ち帰り、洗濯して終業式までに忘れずに持ってきてください。
- 3学期の給食申し込みは12月4日(月)が締め切りとなっております。給食を申し込む方も、申込みをされない方も、申し込み用紙に必要事項をご記入のうえ、ご提出をお願いいたします。